

チェコ 12月の動き

政治・経済日誌

1日 ●財務省によると、1～10月の財政収支は688億4,700万コルナの赤字。赤字額は、前年同期比105億2,100万コルナ減少している。

●KPMGがチェコ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、ポーランド、ルーマニア、スロバキアの中東欧8カ国の企業456社を対象に実施した調査の結果、チェコ国内の企業のうち、来年賃上げを予定しているものの割合は70%を超えており、他の7カ国より高いことがわかった。

●チェコ経済新聞が、統計局とユーロスタットのデータを基に報道したところによると、チェコ労働者一人当たりの労働生産性（購買力平価換算、2012年のデータ）は、EU平均を100とした場合71.9で、2009年の75.8より減少傾向にあり、EU諸国中ワースト6（ブルガリア43.4、ルーマニア51.7、ラトビア66.9、エストニア69.3、ハンガリー70.6）であった。一方、週当たりの労働時間数のチェコ平均は40.5時間で、ギリシャ（42.0）、ブルガリア、ポーランド、スロバキア（いずれも40.7）に次いで多い。チェコの労働生産性が低い要因に関して、アナリストは、業績を下げた企業の多くが、余剰となった労働者、特に経験のある労働者をそのまま維持し、再び売上が伸びるのを待つ方針をとったためとみている。（出所：Hospodářské noviny、記者名：Radek Bednařík）

2日 ●統計局によると、現在高速インターネットを有する世帯の割合は全体の70%

（42%がWiFi）で、前年比6%増。またパソコンを持つ世帯の割合は72%で、同4%増大した。EUランキングでは、チェコは世帯インターネット普及率で第16位（EU平均を5%下回る）、世帯インターネット所有率で17位となっている。

3日 ●自動車輸入者連盟によると、1～11月の国内乗用車（新車）売上台数は175,626台（うち65%が業務用）で、前年同期比17%増。うちシュコダが53,439台（17%増）、ヒュンダイ17,422台、フォルクスワーゲン16,737台となっている。

●チェコ日刊紙の報道を基に、チェコ通信が公表したところによると、チェコの農業機械・設備メーカー、Bauer Technicsは、55億コルナを投じて、カザフスタンに農場を2カ所建設する予定。同社は2012年、中小企業部門におけるチェコ・ベスト・エクスポーターに選出されている。

●11月1日～12月1日に、1,002人を対象に実施された支持政党に関する世論調査の結果、トップは与党・ANOで支持率23.5%、以下チェコ社会民主党（CSSD、与党、21%）、ボヘミア＝モラヴィア共産党（KSCM、野党、14%）、TOP 09（野党、10.5%）、市民民主党（ODS、野党、9%）、キリスト教民主党＝チェコ人民党（KDU=CSL、与党、7.5%）となっている。

●トランスパレンシー・インターナショナルが発表した今年の「腐敗認識指数」ランキングで、チェコは昨年より4位上昇し、177カ国中53位であった。31欧州諸国（EU+ノルウェー、スイス、アイスランド）中では25位。全世界トップはデンマーク、日本は18位。

4日 ●統計局によると、第3四半期におけるグロス月額平均賃金は25,219コルナで、

前四半期比 1.1% (279 コルナ) 減少した。前年同期比では 1.8% (441 コルナ) 増大した。実質賃金上昇率は 1.2%。中央値では 21,521 コルナであった。

- ゼマン大統領は、建設会社・スカンスカの前所長、ダン・チョック氏 (55 歳) を運輸大臣に任命した。

5 日 ●統計局によると、10 月の小売売上は前年同月比 7.5%、前月比では 1.1%それぞれ増大した。

8 日 ●統計局によると、10 月の貿易収支は 102 億コルナの黒字であった。前年同月比輸出 9.9%、輸入 9.6%、黒字額は 17 億コルナそれぞれ増大した。また 10 月の対ロシア輸出は、前年同月比 18.5%減少、EU の対ロ制裁の影響が初めて数字に現れた形となった。

- 労働局によると、11 月末現在の失業率は 7.1%で、前月と同じ。

- 統計局によると、10 月の工業生産成長率は前年同月比 3.2%にとどまり、9 月の 12%から減少した。自動車製造部門の成長率は 9.9%で、やはり 9 月の約 12%より減少している。

- 統計局によると、10 月の建設工事は、前年同月比 2.4%で、成長率は 9 月の 8.8% (前月発表時よりリバイス) より減少。

- シュコダ・オートの 11 月の全世界売上台数は前年同月比 10.1%増で、90,200 台に達し、11 月の数字としてはこれまでで最高を記録した。

9 日 ●統計局によると、11 月の消費者物価上昇率は前年同月比 0.6%、前月比 Δ 0.2%。前月比でマイナスとなったのは、主として食品、燃料価格引き下げのため。

10 日 ●下院は、2015 年予算を最終的に可決した。これは歳入 11,190 億コルナ、歳出 12,190 億コルナ、赤字 1,000 億コルナと設定したもの。赤字額は、2014 年予

算赤字額より 120 億コルナ低い。

- シュコダ・オートの今年の全世界生産台数が 100 万台に達した。年間生産台数が 100 万台を突破したのはこれが初めて。

11 日 ●Cushman & Wakefield によると、世界 65 カ国、330 のショッピング通り・地区店舗賃貸価格ランキングで、プラハのナ・プシーコペ通りは年間 m2 当たり賃料 2,220 EUR で、27 位にランクされた (昨年 26 位)。トップはニューヨークの五番街 (29,822 ユーロ)、以下香港の銅鑼湾 (23,307 ユーロ)、パリのシャンゼリゼ通り (13,255 ユーロ) と続いている。東京・銀座は 8,120 ユーロで、今年の 5 位から 7 位に後退した。

- ユニセフのチェコ代表部の情報を基に、チェコ通信が伝えたところによると、12 月初旬に予定されていたユニセフ本部移転先決定は、早くても 1 月に延期される。プラハを含む 4 カ所が候補地となっているが、現在ユニセフ側が各地に対してオファーの厳密化を依頼しているところ。

12 日 ●プラハで開催された V4 + オーストリア、スロベニアの大統領サミットで、エネルギー源、および供給網の多様化を図る必要があることで合意。

- 中銀によると、第 3 四半期における経常収は 350 億コルナの赤字。1~3 四半期では、181 億コルナの黒字であった。

- チェコ通信によると、高級ガラス・メーカー、モーゼルは、中国企業 CEFC と提携議定書を署名、中国市場に進出する。4 月には北京に中国第 1 号店開店の予定。

15 日 ●EY によると、2009~2013 年の対チェコ外国直接投資プロジェクト数は 321 で、2004~2008 年の 512 件より 37%減少した。2013 年単年では 60 件で、前

年比6%減。

- 内閣は、財務省および中銀が作成したチェコのユーロ導入条件履行報告書を承認した。これによると2013年の財政赤字のGDP比は1.3%、国家債務のGDP比は45.7%であった。しかしながら、財務省、中銀ともに、内閣に対して、現段階でユーロ導入期日を設定しないよう勧告している。

16日●自動車工業会によると、1~11月の国内乗用車生産台数は116万台で、前年同期比10%増。うちシュコダ・オートが684,565台(全体の59%、前年同期比15%増)、ヒュンダイ287,250台(シェア25%、前年同期比1%増)、TPCA186,263台(シェア16%、前年同期比8%増)。

- 2013年の「チェコ・エクスポーター」コンテスト(輸出額で比較)のトップはシュコダ・オート、2位はフォックスコン、3位はアグロフェルトであった。日系ではパナソニックAVCネットワークス・チェコが第5位にランキングされた。

- ソボトカ首相は、ベオグラードにおける中東欧16カ国と中国の首脳会談で、チェコは、中国にとってEUへのゲートウェイとなるように、両国の関係を発展させていきたいと述べた。

- チェコ通信が国内アナリストに聞き取り調査したところによると、ロシア・ルーブルの急激な下落が、対ロシア輸出減などによりチェコ経済へ与える影響は、GDP0.3%程度とみられている。

- 経済会議所が会員企業540社を対象に12月に実施した調査によると、対象企業の約43%が、来年賃金引上げを計画していると回答。昨年の調査では16.5%であった。一方来年も賃金は据え置きと回答した企業は44%となっている。また来年賃金引上げを計画して

いる企業の引き上げ率は2~3%。

17日●ルーブル急落の影響に関して、チェコ通信がチェコ国内企業を対象に実施した聞き取り調査の結果、大半はユーロあるいは米ドル建てで取引しているため差しあたって直接的な影響はないが、今後の動向とロシアの購買力低下を注視する必要があると回答したことがわかった。

- TPCAのスポークスマンによると、同社は、今年5月に製造開始した新モデルの需要が予想を下回ったため、2015年の年間生産台数見通しを10%引き下げ、22万台とした。また3月には派遣労働者数百名を解雇する予定。

18日●ゼマン大統領は、来年の予算案に署名した。

- チェコ旅行会社連盟によると、過去数日間のルーブル急落とともに、ロシアからチェコへのインカミング団体旅行の予約が事実上ストップした。

19日●チェコ通信によると、1月26、27日にチェコで開催されるアウシュビッツ強制収容所解放70周年記念式典に、ジャン＝クロード・ユンケル欧州委員会委員長、および23カ国の国会議長、副議長が出席を表明した。米・オバマ大統領、およびプーチン露大統領は出席しない模様で、現在のところ出席を表明した国家元首はブルガリアのロセン・プレヴネリエフ大統領のみ。

- 12月初旬に実施された世論調査によると、ゼマン大統領の支持率は34%(前月比3%減)で、2013年3月の大統領就任以降最低を記録した。一方ソボトカ内閣の支持率は44%で、前月比1%減少した。

28日●チェコ通信が国内銀行、経済関連機関を対象に実施したアンケート調査の結果、2015年のチェコのGDP成長率予測は最低2%、最高3%であることがわ

かった。また平均インフレ率は 0.5～1.5%、失業率は 7～7.4%となっている。

- 国内携帯電話ネットワーク・オペレーターによると、高速モバイル・インターネットのエリアカバー率は、今年の 70%から 90%に上昇した。

30 日 ●チェコ経済新聞の報道によると、シュコダ・オートの「オクタビア」は今年、欧州 8 カ国（フィンランド、エストニア、ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー、クロアチア、ボスニア＝ヘルツェゴビナ）で、売上 No.1 を記録した。（出所：Hospodářské noviny、記者名：Roman Šitner）

- 中銀によると、9 月末現在のチェコの対外債務は 27,700 億コルナで、前年同月比 2,930 億コルナ増大。GDP 比では 65.5%となっている。
- 世界 35 カ国の研究機関が参加している共同プロジェクト「ワールド・インターネット・プロジェクト」の一環として、チェコ国内で 2014 年 5～6 月に実施された聞き取り調査の結果、インターネット・ユーザーの割合は回答者の 79%で、2008 年より 25%増大した。